

# 令和6年度本宮市立和田小学校経営ビジョン

**しらすわCSが目指す子どもの姿**  
 ○他者を思いやる心豊かな子ども ○目標達成に向け挑戦する子ども  
 ○学ぶ力を身につけた子ども ○ふるさとを盛り上げていく子ども  
 ○積極的に運動する子ども ○健康及び安全に生活する子ども  
 ○考える力、対話する力を身につけた子ども

**令和6年度学校経営基本方針**  
 1 授業改善に真摯に取り組み、個別最適な学習と協働的な学習の充実を図る。  
 2 全教育活動でキャリア教育を推進し、基礎的・汎用的能力を育成する。  
 3 保護者、地域と連携を密にし、望ましい学習習慣、生活・安全習慣を育成する。(あいさつを基盤に)  
 4 和田小の伝統、地域の文化を生かし、未来に向かって前進する創造性を育成する。  
 5 人権意識、服務倫理意識を高め、いじめ見逃しゼロ、不祥事ゼロの取組を充実する。

## 教育目標

○ よく考える子ども  
 ○ 心豊かな子ども  
 ○ たくましい子ども

～ 夢をもち、自他の幸せを考えながら、未来を拓く子ども ～

【第7次福島県総合教育計画】  
 【本宮市学校教育指導の重点】  
 ○ 未来を切り拓く資質・能力の育成  
 ○ 豊かな人間性や社会性の育成  
 ○ 健康な体と運動能力の育成

**育てたい子どもの資質・能力**  
 認め合い 学び合う子ども

<高めたい力>  
 ○自分の考えをもつ。 ○説明する。話し合う。  
 ○目標をもち、努力を続ける。

自分の考えをもち、伝え合う

相手のことを考え、思いやりのある行動をする

めあてに向かって体をきたえる

- 各教科で考えを言葉で表し、伝え合う力の育成
  - 言語活動の充実
    - 発達段階に応じたICTの活用
    - 自分の考えを書く時間の確保
    - 学び合いの場の授業への位置づけ
  - 基礎・基本の確実な定着
    - 個別指導の充実(音読・くりあがり・九九の定着/AIドリル活用)
    - 国・算単元テスト80点以上(85%)
    - 振り返りの時間の確保(5分)
    - 授業スタンダードの活用・学習の仕方の活用
- 学びを支える学習の基盤作り
  - 発達段階に応じた「学び方」「学習規律」の育成
    - 主体的な学習を促す学び方の掲示
    - 主体的に家庭学習に取り組む態度の育成(学年×10分+10分)
  - 想像力を育む読書指導
    - 読書時間の確保(学校週2回、家庭1日10分)
    - 多読賞(低:80冊 中50冊 高30冊)の達成40%

- お互いを思いやり、認め合う態度の育成
  - よりよい人間関係、自己肯定感を育てる学級作り
    - QUの活用、おもいやりの木の実践
    - 情報モラルの指導100%、SOSの出し方(SST)教育
    - いじめを許さないメッセージの発信(「私の宣言」実施 4月/10月)
    - 生活アンケートによる相談・指導(月1回)
    - 教職員による称賛(一人1日1回以上)
  - 交流活動の充実
    - 縦割り班活動、隣接学年活動、特別支援交流、幼小交流
- 道徳教育・学級会活動(1)の充実
  - 道徳科授業の充実
    - 問題解決的な授業の実践、体験活動との関連
    - 考え議論する時間の確保(10分)
    - 参観日等での道徳の授業の公開(年1回)
  - 学級や学校の集団活動に参画する態度の育成
    - 学級活動(1)折り合いをつける話し合い(年3回以上)

- 自己の能力を知り、めあてに向かって努力しようとする態度の育成
  - 日常的な体力づくりと各種記録会の実施
    - フルマラソン、なわとび、外遊びカードの活用
    - 新体力テストの総合評価Cランク以上(65%)
    - 各種記録会達成目標
 

水泳	低:5m	中:15m	高:25m	各60%
持久走	低:40km	中:60km	高:80km	各80%
なわとび	低:両足1分	中:二重10回	高:二重20回	各80%
逆上がり	低:40%	中:60%	高80%	
    - 柔軟性、筋持久力、敏捷性の向上
    - 運動身体づくりプログラムの確保(体育で毎時5分以上)
  - 心身の健康の保持増進のための生活習慣の習得
    - 生活リズムチェックの実施(年7回)
      - 睡眠習慣の定着(就寝→下学年9時前、上学年9時半)
      - 就寝(80%)、夜8時までのメディア使用(80%)
    - 養護教諭、栄養技師、歯科衛生士等とのTT授業の実施(2回以上)
      - う歯の治療(90%)

## 社会に開かれた教育課程

**キャリア教育の充実**  
 すべての教育活動において、キャリア教育推進のための基盤となる4つの能力の育成を図る  
 ☆人間関係形成・社会形成能力 ☆自己理解・自己管理能力  
 ☆課題対応能力 ☆キャリアプランニング能力

**コミュニティスクールの機能の活用**  
 ☆効果的な教育課程の編成 ☆各種行事等の計画や調整

- 地域を知り、良さや課題に気づき、自分ができることを行う教育活動の展開
  - 体験的な学習を推進します。(米、とろろいもづくり)
  - 地域のために行動します。(ふるさとのためにできることを行う 2時間以上)
- 地域とつながる学校づくり
  - 地域との連携、協働により「社会に開かれた教育課程」を推進します。(PTA、学校運営協議会、和田地域づくり振興会、社会福祉協議会、和田幼稚園、等)

主な達成基準例  
 ①県・全国学力調査(県平均点+α)  
 ②研究授業の実施(年1回以上)

主な達成基準例  
 ①いじめ見逃し0  
 ②QUアンケート満足度群(80%以上)  
 ③道徳参観授業の実施

主な達成基準例  
 ①新体力テスト(前年度+1%) ②う歯治療率(90%以上)  
 ③肥満出現率(12%以下)